

プレPMIプランニング (バリュー・ファインダー)

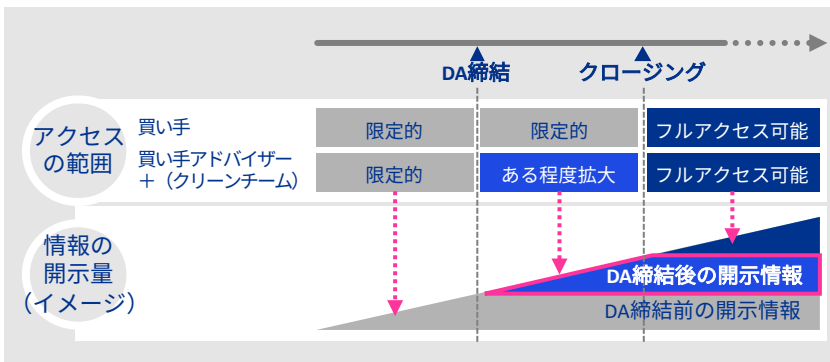
Pre-PMI planning “Value finder”

株式会社 KPMG FAS



M&A失敗の一因として、買収対象会社・事業のリスクを適切・適時に検出できなかった、また発見していたリスクを放置してしまったために、買収後にリスクが実現してしまうことが挙げられます。DA締結前には情報制約があるなかで、減損や不正などM&A実行に伴うリスクをどのように「整理・可視化」をし、どのように「早期に発見」し、「コントロールしていく」べきかのソリューションを提供します。

買収契約書 (“DA”) 締結前のDDは、相応の情報制約があるなかで実施されるもの



- DA締結前後では、開示情報の量だけでなく、質も異なります。

DA締結前DDの目的

- 相応に限定された開示情報に基づき、DA締結の意思決定に必要な情報を入手し、買収対象会社・事業に関するリスクを手当することで、取引実行にあたって設定されたリスク許容範囲内までにおさえることにあります。

M&Aにおける問題の所在と対応の方向性



原因分析

- M&A戦略が短期目線
- マーケットの成長性を見誤る
- 買収対象企業とM&A目的がミスマッチ
- 競争環境下での高値掴み
- デール前の準備不足
- 重大な瑕疵や追加コストを見逃す
- DD担当とPMI担当が異なる (DDの積み残しが引き継がれない)
- PMIのゴール・方針・体制・手続・期間が明確でない

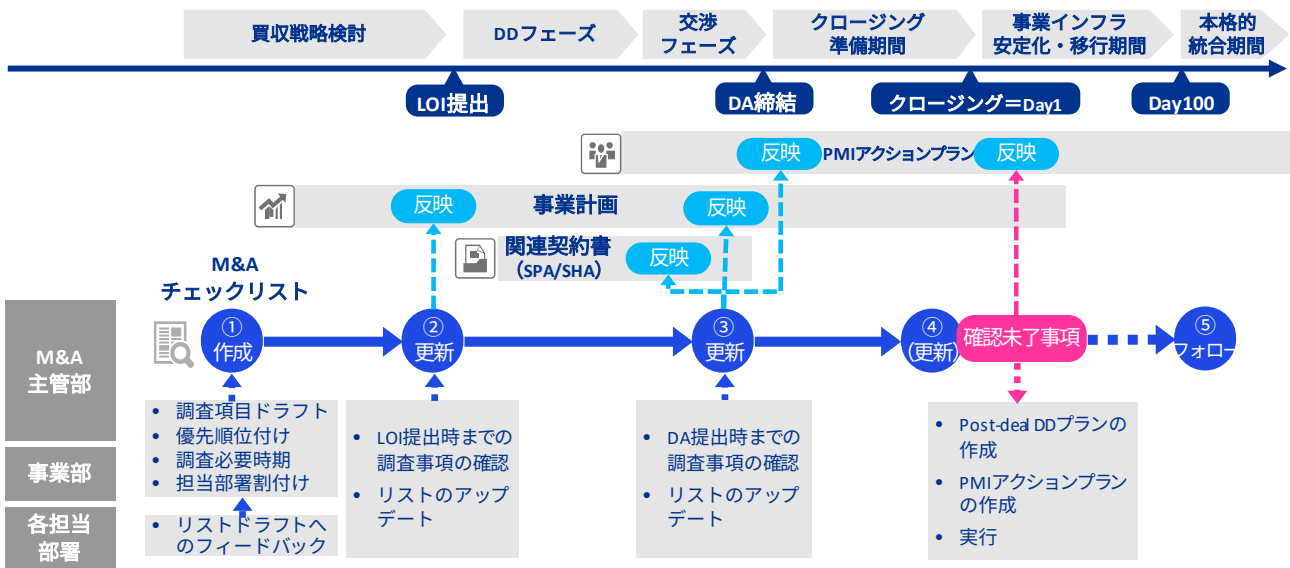


対応

- (1) Pre-deal、(2) In-deal DD、(3) Post-deal DDの各ステージにおいて、何をどの程度までチェックすべきかをマニュアル化する
- DDの積み残しをログ管理し、買収後速やかに調査 (Post-deal DD)
- PMIとしてやるべきことを明確にしておく (ガイドライン化)

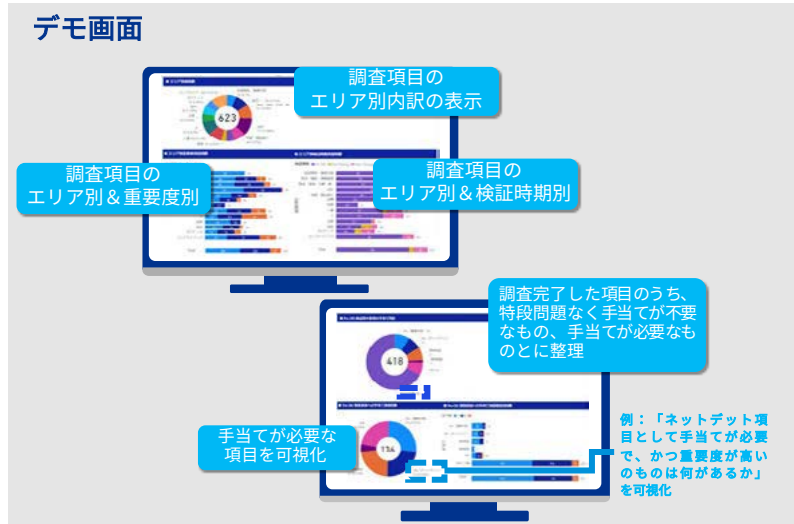
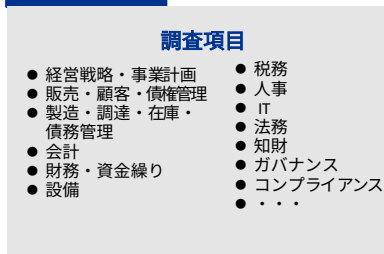
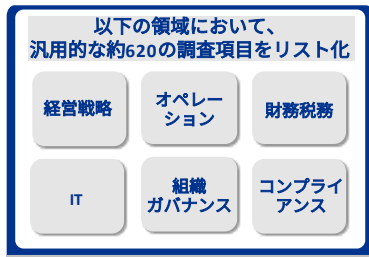
解決策としてのプレPMIプランニング M&Aチェックリストの活用

M&A主管部などが主体となって、各担当部署と協議のうえM&Aチェックリストを準備・調整します。このリストを、M&A各ステージにおいてアップデートをしていき、検出事項を事業計画・契約書に反映するとともに、調査未了事項を可視化していきます。



KPMGのソリューション “バリュー・ファインダー”

M&A実行時に検証すべきリスク項目を幅広く取り纏めたリスト（約620項目）。M&Aを実行していく際の調査事項の指針となり、「調査できたか、できていないか」、「どう手当てしたか」、「どう優先度をつけてアクションプランを策定していくか」を可視化し、継続的なフォローアップに活用できます。



本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくは株式会社 KPMG FASまでお問い合わせください。

株式会社 KPMG FAS

T: 03-3548-5770

E: fasmktg@jp.kpmg.com

kpmg.com/jp/fas

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降における正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2023 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. 23-5022

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.